



平成 17 年 8 月 1 日 発行

牛久市シルバー人材センター広報部会
牛久市女化町859-3
電話029-871-1468
e-mail usiku@sjc.ne.jp

会員数477名(男363人・女114人)7月31日現在



平成 17 年度第 1 回通常総会開催



平成 17 年 5 月 27 日 (金) 午前 10 時 30 分より、牛久市総合福祉センターにて、今年度第 1 回通常総会が開催されました。出席者 82 名、委任状 351 名、計 433 名で平成 16 年度事業報告と収支決算報告、役員選任の議事が承認されました。

16 年度事業実施報告の主たる内容：
就業先の開拓・顧客満足度の向上・事故ゼロを目指し会員の増員と自立した会員の育成を行ってきた結果、会員数においては

12. 8%の増(54人の増加)重篤事故ゼロで順調に進み、契約金額をはじめ、配分金・事務費は前年を上回る成果を上げることが出来ました。

平成 16 年度事業実績

- 契約金 173,913,976 円
- 配分金 154,562,272 円
- 会員数 477 人
- 就業延人員 39,249 人





インフォメーション広場

◆ 旅行委員会からのお知らせ

本年度は**親睦研修旅行実施**の年です。

理事会では旅行委員会を発足させ、準備にかかりました。旅行委員の内訳は、(広報部会から2名・安全部会から2名・一般会員から1名)で構成されています。会員の皆様より、以前頂いたアンケートを参考に、旅行先を決定し、**10月24, 25日近辺**をめどに1泊2日の旅行を計画する予定です。

会津路、奥久慈、奥利根等が候補地

に上がっています
が良い候補地が
あれば是非ご一報
下さい。日程・

行き先・参加費等は

決まり次第チラシにてご案内いたします。会員の皆様多数の参加をお待ちしています。

旅行委員会委員長・内田清、委員・武石よしい・根岸幹和・鴨志田徹・佐藤郁子



●特集 ～地域班～

事務局の取り組み

現在事務局では、平成17年度事業計画の地域班の設立を検討しています。

地域班の目的とは、

- ① センターを地域に広める。
- ② 就業開拓を推進する。
- ③ センターと会員間のコミュニケーションを確立する。
- ④ 会員相互間の親睦交流を図る。

以上のことから地域班とは、職場・職群以外の会員同士のつながりをつくり行政区や地区での活動などに積極的に参加して、シルバー会員の更なる増員と地域内の仕事をその居住行政区の会員が就業することによりシルバー人材センターが地域への定着を目指すものです。



◆ 事務局からのお知らせ

- 会員の皆様の中で、現在シルバー以外で就業されている方、健康上、一身上の都合により就業が困難な方はご連絡をお願い致します。また未就業の方や、**もっとこんな仕事がしてみたいなどの意欲**ある方は事務局までご連絡下さい。
- 平成17年度会費未納の方で、会員として継続を希望される方は、大至急会費を納入して下さい。



賛助会員紹介 いつもご支援いただきましてありがとうございます。



スポーツクラブ牛久

牛久市南 2-34-13
電話(872)6460



医療法人 つくばセントラル病院

牛久市柏田町 1589-3
電話(872)1771



(有)長浦自動車工業

牛久市さくら台 1-77-4
電話(872)2921

就業先・紹介

訪問先：(有) わかな：ハローランチ
 応接者：代表取締役社長：若菜善行 氏
 “わかな”さんは企業・事業所向けに1日2000食のお弁当を配食する会社です。社員は37名。シルバー人材センターからは2名の会員が朝

7時から2時間半、お弁当のおかずを詰める配食ラインの流れ作業に就いています。全員が明るく忙しげな仕事ぶり、また礼儀正しい態度には感心させられました。

人の手に 勝るものはない



ぬくもりある
お弁当を
お客様



社長より「シルバー人材の人も含め、若いも若きも一体となって、全員が仔々と確実性のある仕事をしています。」とのうれしい言葉を頂きました。

シルバー清掃ボランティア

毎月第3水曜日・9時市役所集合

皆様のご参加をお待ちしております



7月20日(水) 清掃ボランティアの作業風景。市庁舎前から出発。駅前通りとブドウ園通りの二手に分かれ、清掃活動を行った。



広報部会だより

広報部会も今年度より新メンバーとなり、新たに活動を開始しました。発行回数は年4回とし、発行月を7月、10月、1月、4月(17年度のみ8月)。うち7、10、1月号は会員向け、4月号は全戸配布として発行していくことに決めました。会員の皆様が積極的に参加していただき、紙面作りを目指し、たとえば川柳、俳句、

短歌等の掲載とか他にこんな事を載せて欲しい等のご意見、ご要望を寄せていただき、皆様に親しまれる紙面にしていきたいと思っております。会員の皆様の中には素晴らしい特技をお持ちの方も多いためです。是非、ご披露していただき、楽しいシルバー広報にしたいものです。



理事会だより

第1回理事会審議事項報告



平成17年5月23日(月)今年度最初の理事会(役員10名・事務局3名)が牛久市総合福祉センター第2会議室において開催され、次のような事項を審議致しました。

1. 平成16年度事業報告案について
2. 平成16年度収支決算案について監査報告
3. 平成17年補正予算案について
4. 平成17年度事業状況報告について
5. 新入会員の承認について
6. 表彰規定の制定について
7. その他
 - 総会の出欠について
 - 安全部会および広報部会活動について
 - 会員親睦研修旅行委員会発足について



役員って何やるの？

シルバー人材センターには、選任された理事15名、監事2名がそれぞれ安全部会、広報部会の担当任務を担いながら、「自主・自立」「協働・共助」の理念に沿い、センターの運営にあたっています。役員一人ひとりが、センターの目的・組織・運営等を十分に認識し、民法などの法律に則り、**無報酬で活動**しております。定期的に理事会を開き、事業理念の具体化と事業目標等の設定について審議し、**事業の運営・展開**を図って活動しております。

理事会では、センターの更なる発展、より良い運営を図るために、会員皆様のご意見やご要望をお待ちいたしております。

—大澤理事退任される—

大澤正男氏は、長年にわたり、理事として当シルバーセンターの発展向上に尽力され、この度、退任されました。長い間のご労苦に感謝するとともに、今後ますますのご健勝・ご多幸を祈念いたします。

役員ってどんな人？



理事長
赤松泰三



副理事長 広報部会
鈴木伊平



副理事長 安全部会
安田安次



理事 安全部会
糸澤良男



理事 安全部会
正田 晶



理事 広報部会
久保田直登



理事 安全部会
武石 よしい



理事 安全部会
馬淵弘志



理事 広報部会
内田 清



理事 広報部会
根岸幹和



理事 広報部会
中山俊秀



理事 安全部会
鴨志田 透



理事
宮本久夫



理事
高嶋 明



常務理事
神戸文夫



監事
池井一夫



監事
坂井平男



今後ともよろしくお願い致します。

役員一同

安全だより

無事故を目指して、この夏を乗り切りましょう！

いよいよ盛夏の季節になってまいりました。

特に屋外作業に従事の皆さん、毎日ご苦労様です。暑さで気の緩むせいか、この時期事故も増えてきていますので注意しましょう。

「安全第一」「事故ゼロ」をモットーに就業できるよう「安全就業」の小冊子のとおり…

- ① 自己の健康管理に留意し、睡眠不足等で疲れを翌日に持ち越さないようにしましょう。
- ② 始業前の事故安全対策や器具などの点検及び整理整頓などに気をつけよう。
- ③ 作業内容の確認をしよう。
- ④ 通勤の時、現場への行き帰りの時、交通事故に遭わない様、特に注意しましょう。

「無事故を目指して、この夏を乗り切りましょう」

職場巡回パトロールを随時行いますので、巡回の際はよろしくご協力ねがいます。

この時期、特に注意する点は

○ 熱中症 に罹らない。

予防のポイント

- ・ こまめに水分・少量の塩分をとる。
- ・ スポーツドリンクも有効
- ・ 睡眠不足・疲労は大敵、特に二日酔いでの作業は厳禁です。
- ・ 出来るだけ涼しい服装をしよう。屋外作業では、つばの広い帽子も有効。

次のような症状は熱中症の危険信号です。

- ・ 吐き気がする ・ 反応が鈍る
- ・ 頭が痛い ・ 言動がおかしい



- ・ 呼吸が速い ・ 脈が早く、弱い
 - ・ 唇がしびれる ・ めまいがする
 - ・ 筋肉に痛みとけいれんがある
- 熱中症だと思ったら、すぐに救急車を呼ぶか医者に見てもらいましょう。

チャンス到来!
さあ 頑張りど



○ 蜂 に刺されたら・・・

これからの時期、蜂の動きが大変活発になります。

- ・ 刺されたら、まず現場から数10メートル遠ざかる。
 - ・ 傷口を流水で洗った後、ぬれタオルなどで冷やす。
 - ・ 抗ヒスタミン剤含有のステロイド軟膏があれば塗る。
- ★刺された箇所が腫れてくるだけでなく、気持ちが悪くなったり、顔が青ざめる等の全身症状が現れたときは、急ぎ病院へ行きましょう。
- ★アシナガバチ・スズメバチには近寄らない、すぐ逃げる事!!!
- 特にスズメバチは、攻撃性が強く、毒も強く人体にも大変危険です。

○ 安全 意識啓発 バッチ

配布致しますので、就業の際必ず着用する様お願い致します。



平成17年度安全就業推進大会の参加報告

平成17年7月7日(木)水戸市「県総合福祉会館」にて、(社)茨城県シルバー人材センター連合会主催の講演と事例発表による安全就業推進大会が開催されました。参加団体・48 団体、参加人員・217 名(当センターより5名参加)の熱心な聴衆で会場は熱気に溢れていました。講演内容は以下の通りです。

講演 1.高齢者の交通安全について(県警察部交通部警部補、中村豊氏)

(1) 高齢者の交通事故が全国で6月末現在

講演 2.造園作業等の安全対策について

(県造園建設協会、中村澄夫氏)

(1) 事前に客先の意向を良く理解して作業者同士で打合せて、手順よく作業を行い、作業後余計な仕事を作らない。(刈り込み過ぎ等のクレーム事例あり)

(2) 事故事例と安全対策

(3) 脚立からの墜落(事故の



大半を占めている)

(4) 樹木からの墜落

(5) 機械や道具による事故

(6) 安全確保への方策

- ・道具の点検は作業前後に必ず行い、特に損傷が発見された場合は速やかに責任者に連絡をし、次の使用時に支障が無い様、配慮する。

- ・体調の管理は、安全作業への第一歩である。

- ・道具を大切にすれば仕事も上手である。

事例発表(安全就業の取組について)

- ・日立市シルバー人材センター(高橋宏一氏)

- ・石岡地方広域シルバー人材センター(室町一成氏) いずれのセンターも会員の安全作業確保と、作業現場途上の交通事故ゼロをめざして活動している内容の報告でした。最後に「無事故を目指して」の安全宣言によって、閉会しました。

以上



2,294 件(内63名死亡)発生している。

(2) 最近の事故の特徴として

- ・事故発生の時間帯が午前から昼過ぎ頃に集中している。

- ・認知症の運転者による事故。(某近県では、逆走事故が昨年29件あったが、半数が認知症の運転者とみられている)

- ・高齢者の歩行中や自転車による事故の多発等が目立っている。

(3) 事故の予防への注意として、当然のことながら良く見ることと、酒気帯び運転(特に二日酔いには注意)は絶対にしない事。

